

監護相当・生計費の負担についての確認書

南あわじ市長 殿

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。

申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの（詳細は裏面を参照）

上記「注」に記載されている対象児童の情報のみを記入してください		住所欄には住民票上の住所地を記入 ⇒監護相当の状況は実際の状況を選択ください (例)住民票は南あわじ市だが、実際は神戸市に居住している ⇒住所は南あわじ市(実家)、監護状況は2に該当する				住民票上の住所		生活費には仕送り等も含まれます											
氏名 対象児童の氏名		生年月日 平成 ○年 ○月 ○日 令和		住所		通学先（学生の場合のみ） ○○大学		卒業予定時期（学生の場合のみ） 令和 ○年 3月		申立人による監護相当の状況（いずれかに○） 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）		申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○） ①生活費（食費、家賃等） ②学費 ③その他（ ）							
住民票上も市外に転出されている場合は記入必須！		子 学生・無職・その他		※短期大学や専門学校等に通っており、22歳の年度末までに学校を卒業し、監護相当や生計費の負担の状況に変更が生じる可能性がある方については、本確認書の提出を再度求める場合があります		就職されている場合⇒その他 ※職業が「無職」または「その他」の場合 ⇒監護相当や生計費の負担の状況に変更が生じる可能性があるため、カウント対象児童が22歳の年度末を迎えるまで本確認書の提出を毎年依頼させていただきます。		(学生の場合のみ)		卒業予定時期（学生の場合のみ）		申立人による監護相当の状況（いずれかに○）		申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）					
ふりがな 氏名		生年月日 平成 ○年 ○月 ○日 令和		住所		個人番号		続柄		職業等（いずれかに○）※		通学先（学生の場合のみ）		卒業予定時期（学生の場合のみ）		申立人による監護相当の状況（いずれかに○）		申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
学生・無職・その他		令和 ○年 ○月		1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）		1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）													

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 ○年 ○月 ○日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 現在児童手当を受給されている方の氏名

氏名 住民票上の住所

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。